

V2H-充放電器の停電時操作方法 [アウトランダー21年12月～]

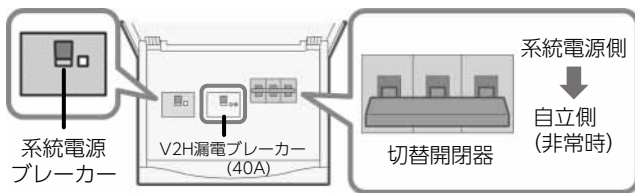
- ・車両からの電源供給を停電用（非常時専用）ラインにするため、切替開閉器を「自立側（非常時）」に切り替えてください。（デモ用に模擬停電させる場合のみ、系統電源ブレーカーをオフしてください）
 - ・12V電源ケーブルは使用しないでください。（アウトランダーは年式により操作手順が異なります）
- ※車両側の詳細操作および注意事項につきましては、車両の取扱説明書をご参照願います。

I. 給電開始の手順

CHECK

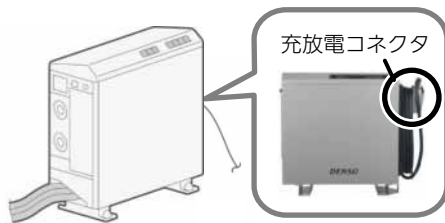
- ・車両の「電動パーキングブレーキ」がかかっていること
- ・プラグインハイブリッドEVシステムが停止していること（停止後11分間、自動的にACCオン状態となります）

- 1 切替盤内の切替開閉器を「自立側」に切り替える。

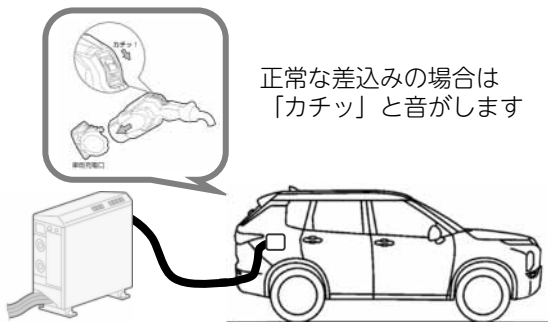


※本体の操作パネルに、E29/E74/E100/E123が表示されますが、停電検知コードであり異常ではありません（数秒で消えます）。

- 2 V2H本体のホルダから「充放電コネクタ」を取り出す。



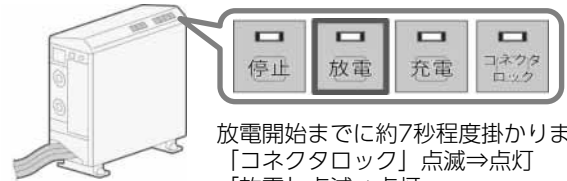
- 3 車両の充電リッドを押して開け、「充放電コネクタ」を「急速充電給電口」に差し込む。



- 4 車両の「今すぐ充電」スイッチを「長押し」する。



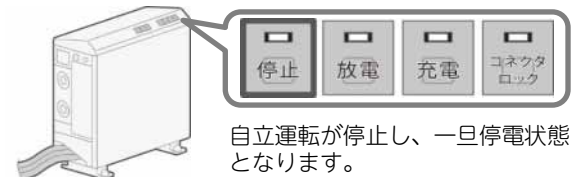
- 5 V2H本体の「放電ボタン」を押す。



- 6 準備が完了し**給電可能**となる。
使用する電気設備の電源を入れてください。

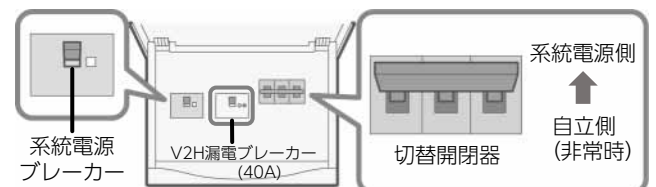
II. 停電終了（復電）時の手順

- 1 V2H本体の「停止ボタン」を押す。



※「復電時放電設定をOFFにしている場合、復電後に運転が自動停止するため、この操作は不要です。

- 2 切替盤内の切替開閉器を「系統電源側」に切り替える。

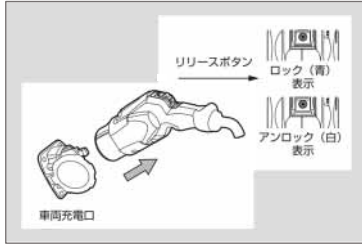


※模擬停電終了の際は系統電源ブレーカーを「ON」にする。

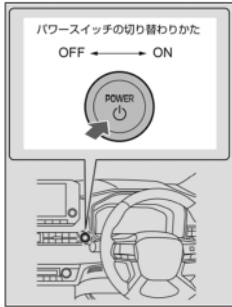
Ⅲ.給電開始後、車両のバッテリーが尽き運転停止した場合の復旧手順

車両のバッテリー容量が放電下限値※1に達すると、V2Hは運転を停止し停電状態となります。ガソリンエンジンを駆動しアイドリング状態でバッテリーチャージすることにより、再度宅内へ給電が可能です。

- 1 リリースボタンを押しながら、車両から「充放電コネクタ」を引き抜く。



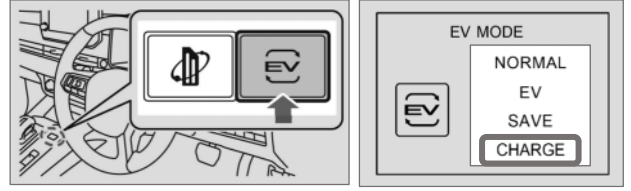
- 2 「ブレーキを踏みながら」、「パワースイッチ」を押してプラグインハイブリッドEVシステムを起動する。



メーター内のREADY〔走行可能〕表示灯が点滅から点灯に変わるまで、ブレーキを踏み続けて下さい。

※手順3は右上へ

- 3 EVモードセレクトスイッチを押してバッテリーチャージモードを選択する。



マルチインフォメーションディスプレイにEVモードが表示され、モードを選択し2秒間待機するとモードが確定します。

※バッテリーチャージモードに切り替えると、停車中でもエンジンが始動するため、車庫や雪が積もった場所では使用しないでください。

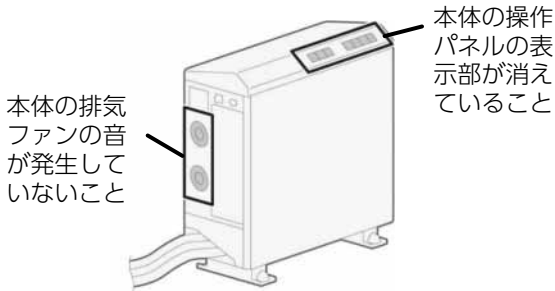
- 4 充電完了後、復旧準備が完了となる。
「Ⅰ.給電開始の手順」を改めて行ってください。

※1.車両に残すバッテリー量はV2H側で任意に設定可能です。
(車両固有の放電下限値を変更することは出来ません)

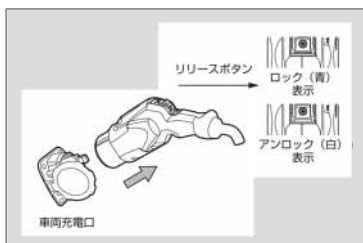
Ⅳ.給電開始後、過負荷により停止した場合の復旧手順

V2H-充放電器の定格電力「6kVA未満(片相3kVA未満)」を超えて電力を使用した場合に、給電が停止し停電状態となります。この場合、再度給電するため下記手順にて復旧準備を実施してください。

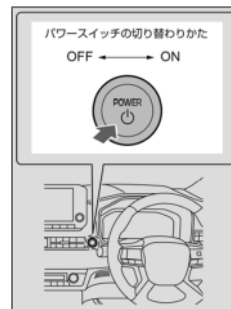
- 1 給電停止前に使用していた電気機器等のスイッチをOFFにする。



- 2 リリースボタンを押しながら、車両から「充放電コネクタ」を引き抜く。



- 3 「ブレーキを踏みながら」、「パワースイッチ」を押してプラグインハイブリッドEVシステムを起動する。



メーター内のREADY〔走行可能〕表示灯が点滅から点灯に変わるまで、ブレーキを踏み続けて下さい。

- 4 「ブレーキを踏みながら」、「パワースイッチ」を押してプラグインハイブリッドEVシステムを停止する。

- 5 復旧準備が完了となる。
「Ⅰ.給電開始の手順」を改めて行ってください。